

中学生の英語学習に対する内発的動機づけを高めるための

ICT 機器を活用した授業実践

令和 3 年度入学

熊本大学大学院 教育学研究科

教職実践開発専攻 教科教育実践高度化コース

村上 喬文

実践報告書要旨

本実践報告は、Deci&Ryan(1985)が提唱している自己決定理論における 3 つの心理的欲求（自律性・有能性・関係性）を高めることを目的に ICT 活用を行い、最終的に中学生の英語学習に対する内発的動機づけを高めるために行った授業実践である。

筆者は本授業実践を行う前に、Deci&Ryan(1985)の自己決定理論における 3 つの心理的欲求の観点で、配属校の英語科の先生方の ICT 活用を観察し、配属校の ICT 活用の状況や先生方が授業で ICT を活用するときに気をつけておられていることを把握するためにアンケートを実施した。そして、それらを踏まえて、本授業実践を行う前に一度授業実践を行い、さらに筆者自身の ICT 活用を見直した。

また、本授業実践では 3 つの心理的欲求を高め、最終的に中学生の英語学習に対する内発的動機づけを高めるための ICT 活用として、デジタル教科書を活用した音読練習や本文の内容確認、生徒同士が人物紹介をする時の視覚的サポートとなるようなロイロノートの活用、またロイロノートを活用した教員から生徒の提出物へのフィードバックを実践した。そして、本授業実践での自分の ICT 活用が生徒の英語学習に対する 3 つの心理的欲求や動機づけにどのような影響を与えているのかを検討するためにアンケートを作成し実施した。

アンケート分析の結果、筆者の ICT を活用した授業実践を通して、生徒の英語学習における 3 つの心理的欲求を高めることができた。また、授業実践後の生徒の英語学習への動機づけの種類としては外発的動機づけ/同一視的調整が最も高いことがわかった。

本実践報告を通して、Deci&Ryan(1985)の自己決定理論における 3 つの心理的欲求を高め、最終的に中学生の英語学習に対する内発的動機づけを高めるために ICT を活用するというように、ICT を活用する目的を明確に持って実践を行うことの重要性を学んだ。今後、本実践報告を通して学んだことを基に授業研究を重ね、一人前の教員になりたい。